

第6回 沖縄防災連絡会の主内容

1. 沖縄における道路啓開計画(案)について
2. 被災想定部会(仮称)の新設について
3. 各部会からの報告について
4. 各機関からの連絡・報告事項について

沖縄における道路啓開計画(案) 骨子

一 総論

【啓開の意義】

沖縄の地理的特徴は、半島と島嶼とが連続した地形に在り、大規模な都市圏を形成するに於いて、その土地の特性を考慮し、交通手段の確保が、都市の発展に不可欠である。従って、交通手段の確保は、都市の発展に不可欠である。従って、交通手段の確保は、都市の発展に不可欠である。

二 概観

【計画の目的】

沖縄の地理的特徴は、半島と島嶼とが連続した地形に在り、大規模な都市圏を形成するに於いて、その土地の特性を考慮し、交通手段の確保が、都市の発展に不可欠である。従って、交通手段の確保は、都市の発展に不可欠である。

三 計画の概要

【啓開の意義】

沖縄の地理的特徴は、半島と島嶼とが連続した地形に在り、大規模な都市圏を形成するに於いて、その土地の特性を考慮し、交通手段の確保が、都市の発展に不可欠である。従って、交通手段の確保は、都市の発展に不可欠である。

四 啓開の意義

沖縄の地理的特徴は、半島と島嶼とが連続した地形に在り、大規模な都市圏を形成するに於いて、その土地の特性を考慮し、交通手段の確保が、都市の発展に不可欠である。従って、交通手段の確保は、都市の発展に不可欠である。

五 啓開の意義

沖縄の地理的特徴は、半島と島嶼とが連続した地形に在り、大規模な都市圏を形成するに於いて、その土地の特性を考慮し、交通手段の確保が、都市の発展に不可欠である。従って、交通手段の確保は、都市の発展に不可欠である。

沖縄における道路啓開計画(案)

沖縄防災連絡会被災想定部会(仮称)の設置(案)

【目的】

沖縄地域に
おこる災害に
迅速に対応す
ることを目的
とし、関係機
関等と連携し
て、被災想定
部会(仮称)を
設置する。

被災想定部会(仮称)の新設

災害対応をおこな
うための、医療
、物資、燃料
などの災害対応
の実施

A部会

B部会

沖縄防災連絡会
被災想定部会

関係機関B

【役割・役割】

- ・救助・救急、消防、医療、物資、燃料等を踏まえた被害の
全容把握に関すること。
- ・各部会で検討した災害対応の実施手順の横断的な整合
調整に関すること。
- ・その他関連する情報の収集整理に関すること。

成果

- ・沖縄地域の被害全容
- ・災害対応実施手順の課題整理

【部会構成機関(案)】

- ①道路管網等計画検討部会、②主要港湾の管網、機能復旧のあり方検討部会、
- ③那覇空港の機能復旧のあり方検討部会、④水部会、⑤石油・ガス部会、⑥電力部会、
- ⑦災害時の支援物資物流に関する検討部会、⑧通信部会、⑨地理空間情報の共有に関する検討部会、
- ⑩訓練検討部会、⑪沖縄県(知事)防災危機管理課

※部会構成機関については、事務局(案)であり現時点では未調整である。

連絡会開催の様子

